

川崎市10大ニュースを決定

～1位は「ドラえもん誕生100年特別住民票」

(事務局)

「2012年川崎市10大ニュース」が発表されましたね。

(堀添)

はい。川崎市が行う毎年恒例の企画です。今回は、市が用意した55の出来事に対し、市民投票で順位が決まりました。投票に参加した方は2,612名で、昨年よりも736名多かったようです。

(事務局)

1位は、「ドラえもん誕生100年記念の特別住民票発行」でした。

(堀添)

実は前回の10大ニュース第1位は「藤子・F・不二雄ミュージアム開館」でしたので、ドラえもん関係の出来事が2年連続でトップを占めたことになります。

今回、市が用意した55項目の中で、東日本大震災関係は、4月に起きた「学校給食用冷凍ミカンからの放射性物質検出」のみでしたが、これが14位に入っています。検出された放射性セシウムは国の安全基準を下回っていましたが、市民の関心の高さを示しているように思います。

(事務局)

ありがとうございました。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

1位	ドラえもん誕生100年、藤子ミュージアム開館1周年で特別住民票発行、1週間で9万ダウンロード。	1309票
2位	最新鋭のプラネタリウムを導入した『かわさき宙(そら)と緑の科学館』がオープン	1195票
3位	夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダに待望の赤ちゃん誕生	937票
4位	桐光学園高校野球部、夏の甲子園でベスト8	910票
5位	『カワサキハロウィン』の国内最大級のパレードに10万人の観客	819票
6位	政令指定都市移行40周年、川崎・幸・中原・高津・多摩区区制40周年を迎える	652票
7位	ロンドンオリンピックで銅メダルを獲得した立石諒選手に『川崎市スポーツ特別賞』	611票
8位	川崎市立橋高校、女子バレーボールにおいてインターハイ初優勝	593票
9位	川崎駅北口自由通路の整備に向けて、市とJR東日本で施行協定締結へ	516票
10位	『2012川崎国際多摩川マラソン』が開催、応募殺到で3日で締切に	510票
11位	『岡本太郎美術館』入館者100万人突破	504票
12位	等々力陸上競技場メインスタンドの改築に着手	453票
13位	宮前区と麻生区、区誕生30周年を迎える	377票
14位	川崎市制記念多摩川花火大会に約21万人訪れる	374票
15位	学校給食用の冷凍ミカンから、微量の放射性物質を検出	333票
16位	井田病院が新しくなり、新棟で診療を開始	324票
17位	重症患者救急対応病院として、川崎幸病院開業	321票
18位	専修大学サッカー部、全日本大学サッカー選手権大会で優勝	317票
19位	川崎フロンターレに風間監督就任	313票
20位	『モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2012』を開催	308票

※詳細は川崎市ホームページをご覧ください。 <http://www.city.kawasaki.jp/>

川崎市における放射線測定結果(1月15日現在)

浄水場：川崎市内の2か所の浄水場では、毎日放射能測定を行っていますが、一昨年4月22日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも検出されていません。

大気：公害研究所（川崎区）、麻生大気測定局で、放射線量実態調査を毎月行っており、地上5cm、50cm、100cmとも自然界の放射線レベルの範囲内です。（1月は9日に実施）

市内農産物：果菜類（トマト、きゅうり）、根菜類（さつまいも、大根、玉葱）、果実（梅、梨、柿）の出荷前チェックでは、一昨年5月に梅（セシウム：29.5ベクレル/Kg）、10月に柿（セシウム：4.5ベクレル/Kg）から検出された以外は、検出されていませんでしたが、10月4日のチェックで柿から1.4ベクレル/Kgが、11月20日にはみかんから1.8ベクレル/Kgが検出されました。
（食品衛生法上の基準値は一般食品100ベクレル/Kg以下）

水道水：不検出

下水汚泥等：入江崎総合スラッジセンター（12月26日測定） 放射性セシウム測定
脱水汚泥：不検出 汚泥焼却灰：564 Bq/Kg
（焼却灰は飛散防止処理の上、施設内等で安全に保管されています。）

ごみ焼却灰：橋処理センター

処理施設が稼働停止していたため、飛灰等は測定しませんでした。
施設周辺の空間放射線量は、0.06~0.07 μ Sv/hの範囲内でした。
（12月は6日と20日に測定）
なお、自然放射線は概ね0.008~0.048 μ Sv/hとなっています。

**放射線測定器の貸し出しを高津区役所でも行っています。
（電話予約が必要です。044-861-3113）**

連載コラム

川崎と高津の地名（No.6）

参考：日本地名研究所編「川崎の町名」

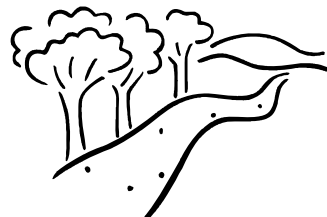
「諏訪」の由来

昭和3年、高津村が町制に移行した時に、それまでの「諏訪河原」から「諏訪」に地名が変わりました。

諏訪河原の地名の由来は、長野県の諏訪と関連が深いと言われています。「風土記稿」によると、小田原北条氏の家人、信濃出身の諏訪左近頼久が小机領寺尾村小黒に逃れ住み、のちここへ移住し屋号を村名にしたという説があります。また「小黒家文書」によると、頼久が天正12年（1584年）に諏訪明神（現在の諏訪神社）を勧請したから、という二つの説があるようです。

近世になると一時的に村の半分以上が旗本領になりましたが、残りは直轄領と増上寺御霊屋料だったようです。

17世紀末には溝の口宿の助郷（宿駅の補助として課役を担う）に当てられましたが、18世紀前半には品川宿の助郷役もあわせて命じられ、村民は人夫役を減らすために新たに堀をつくって村の境界を変えようとしたほど、地域にとって負担が大きいものでした。



政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294